

京都市市民生活実感調査 調査票

参考資料 4

生活実感

京都市の施策 〔京都市の行政活動の目標〕	質 問	選択肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちらと も言えな い	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
男女がともに自立、参画、創造する男女共同参画社会の実現	Q 1. 男女が個人として尊重され、共に個性や能力を発揮できる社会になってきている。	a	b	c	d	e
高齢者の人権の尊重	Q 2. 高齢者の知識や経験が尊重され、権利が守られている社会である。	a	b	c	d	e
特別施策としての同和対策事業の終結とその後の取組	Q 3. 生まれや生い立ちに関係なく、すべての人がいきいきと暮らせる社会になってきている。	a	b	c	d	e
現代社会における多様な人権問題への対応	Q 4. HIV感染者やハンセン病患者、刑を終えて出所した人、ホームレスなど、現代社会の様々な人権問題について、市民の正しい理解と認識は高まっている。	a	b	c	d	e
高齢者や障害のあるひとが積極的に社会参加できる機会の提供	Q 5. 高齢者や障害のあるひとが社会参加できる機会が十分ある。	a	b	c	d	e
だれもがいきいきと働けるまちづくり	Q 6. だれもがいきいきと働ける場を得る機会がある。	a	b	c	d	e
子どもたちの社会性を高める教育の推進	Q 7. ボランティア活動などで、子どもの社会性が高まっている。	a	b	c	d	e
教職員の能力・意識の向上	Q 8. 学校の先生は熱心に取り組んでいる。	a	b	c	d	e
住み慣れた地域のなかで支え合い安心してくらすしくみづくり	Q 9. 万が一のことがあっても地域で支えあう仕組みがあるので、安心である。	a	b	c	d	e
障害のあるひととその家族を支えるサービスの充実	Q 10. 障害のあるひとやその家族を支えるホームヘルプ（訪問介護）などのサービスが充実している。	a	b	c	d	e
安心して子育てができる保育サービス等の提供	Q 11. 子育て家庭のニーズに応じた保育サービスが充実している。	a	b	c	d	e
子育ての支援を求める家庭への応援体制の構築	Q 12. 子育てに不安を感じたときに気軽に相談できる場所があるので、心強い。	a	b	c	d	e

生活実感

京都市の施策 〔京都市の行政活動の目標〕	質 問	選択肢				
		そう思う	どちらか というと そう思う	どちらと も言えな い	どちらか というと そう 思わない	そう 思わない
市民ひとりひとりの健康の増進	Q 1 3. 正しい情報を基に、健康づくりに取り組む人が増えている。	a	b	c	d	e
保健医療施策の計画的な推進						
保健医療サービスを支える体制の整備	Q 1 4. 利用しやすく頼れる医療や検査などの機関がある。	a	b	c	d	e
生活衛生の推進	Q 1 5. 保健所などによる業者への監視や指導があるので、食品や住まいの衛生などに不安を感じることはない。	a	b	c	d	e
「京（みやこ）のアジェンダ21フォーラム」を核とした環境問題への取組	Q 1 6. 省エネや省資源に取り組むお店や買い物客、公共交通機関を利用する人が増えている。	a	b	c	d	e
廃棄物を出さない循環型社会の構築	Q 1 7. ごみの減量、分別収集や集団回収などに取り組む人が増えている。	a	b	c	d	e
災害から身を守る知恵や力をつける災害に強いひとづくり	Q 1 8. 防災情報、防災訓練などによって、災害から身を守る知識が備わってきた。	a	b	c	d	e
犯罪や事故のない安全なまちづくり	Q 1 9. 自治会などの事故や犯罪を防ぐ取組により、安心して暮らせるまちである。	a	b	c	d	e
歩く魅力のあるまちづくり	Q 2 0. 京都は、まちの美しさや賑わいなどにより、歩いて楽しいまちである。	a	b	c	d	e
歩くまちを支える公共交通の充実	Q 2 1. まちなかの移動にはバスや鉄道が便利である。	a	b	c	d	e
市民、事業者と一体となったまちの美化の推進	Q 2 2. まちに散乱ごみが少なくなってきた。	a	b	c	d	e
水と緑を生かしたまちづくり	Q 2 3. 京都は水と緑をうまく生かしたまちである。	a	b	c	d	e
文化の創造・発信に向けた総合的な取組の推進	Q 2 4. 京都では文化・芸術活動が盛んである。	a	b	c	d	e
多彩な芸術文化交流の推進						
芸術文化の新たな担い手の育成	Q 2 5. 京都では多くの若い芸術家が育っている。	a	b	c	d	e
文化財保護の推進	Q 2 6. 京都では文化財に親しむ機会が多い。	a	b	c	d	e

生活実感

京都市の施策 〔京都市の行政活動の目標〕	質 問	選択肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちら とも言 えない	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
多彩な国際交流の推進	Q 2 7. 京都では市民レベルでの様々な国際交流が盛んである。	a	b	c	d	e
京都の特性を生かした国際協力の推進						
多彩な学習機会の確保・提供	Q 2 8. 大学や神社仏閣、博物館など京都ならではの様々な学習機会に恵まれている。	a	b	c	d	e
新たな学習支援のしくみづくり						
世代を越えてともに学ぶ地域づくり	Q 2 9. 学校や地域での取組など、幅広い世代がともに学べる機会が充実している。	a	b	c	d	e
活力ある産業活動への支援	Q 3 0. 京都はものづくりが活発に行われている。	a	b	c	d	e
市民に身近で環境にやさしい都市農林業の育成	Q 3 1. 京野菜や北山杉など、京都の農林業は魅力的である。	a	b	c	d	e
観光情報の受発信と観光客誘致の強化	Q 3 2. 京都は様々な方法で観光客をうまく呼んでいる。	a	b	c	d	e
コンベンション誘致の強化	Q 3 3. 京都は国際会議などが盛んに開かれる都市である。	a	b	c	d	e
個性豊かな大学の集積を生かした交流の場づくり	Q 3 4. 京都は、大学間の交流が盛んであるなど、「大学のまち」として魅力がある。	a	b	c	d	e
地域に開かれた大学づくりの促進	Q 3 5. 市民向け公開講座や地域との交流など、大学が身近に感じられる。	a	b	c	d	e
大学・学術研究機関の振興	Q 3 6. 京都にある大学や学術研究機関は多くの人材を育成したり研究成果をあげたりしている。	a	b	c	d	e
若者の活動拠点の整備と社会参加・自主的活動の支援	Q 3 7. 若者が活動する場や情報が十分提供されている。	a	b	c	d	e
多彩で個性的な機能をもつ地域のまちづくり	Q 3 8. 鉄道駅の周辺や商店街が賑わっている。	a	b	c	d	e
都市内の交通網の整備	Q 3 9. 市内の道路は安全・快適である。	a	b	c	d	e
歩くまちにふさわしい道路網の整備						

生活実感

京都市の施策 〔京都市の行政活動の目標〕	質 問	選択肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちらと も言えな い	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
広域交通網の充実	Q 4 0. 京都市は交通網が充実している ので、外国や国内各地との行 き来がしやすいまちだ。	a	b	c	d	e
デジタルアーカイブ（※） の推進	Q 4 1. デジタル化により美術品や歴 史的資料が文化や産業に生か されている。	a	b	c	d	e
観光における高度情報化 の推進	Q 4 2. 京都市内の観光情報がイン ターネットに掲載されているの で、観光客にとって便利であ る。	a	b	c	d	e
情報教育の充実	Q 4 3. 子どもたちに対して、時代 に合った情報教育ができてい る。	a	b	c	d	e
行政の高度情報化の推進	Q 4 4. 市役所や区役所の I T 化が 進み、公共サービスが便利にな った。	a	b	c	d	e
市民との対話による双方 向性の確保	Q 4 5. 市の方針や仕事の内容につ いて、市の職員から説明を受け 、意見交換ができる機会や場が 十分ある。	a	b	c	d	e
市民が政策形成に参画 できるしくみづくり	Q 4 6. 市の方針や仕事の内容につ いて、企画段階から市民が意見 を言う機会が十分ある。	a	b	c	d	e
市民との協働による政策 の推進	Q 4 7. 多様な事業やイベントなど において、市民や行政が力を合 わせて取り組む機会が十分あ る。	a	b	c	d	e
市民とともに 行う評価の しくみづくり	Q 4 8. このアンケートなど、市民 が市の仕事を評価する仕組み が整っている。	a	b	c	d	e
魅力ある地域づくりの拠 点としての区役所機能の 強化	Q 4 9. 身近な暮らしの相談が できる など、区役所は頼りになる。	a	b	c	d	e
新市庁舎の整備	Q 5 0. 新市庁舎ができることで、 市役所が、市民に開かれたす べての人にやさしい施設にな ることが期待できる。	a	b	c	d	e

※デジタルアーカイブ 文化・学術・産業等、さまざまな「財」をデジタル技術で蓄積し、あらゆるひとが自由に利用できる環境を整えること。その対象は、絵画や美術工芸品から伝統産業や芸術を支える技術まで多岐にわたる。

政策重要度

京都市では、次のような各分野の政策に取り組んでいます。

この中で、あなたにとって今、特に大切と思われる分野について、**5つまで選んで「○欄」**に○を付けてください。

分野・政策名	○欄	分野・政策名	○欄
1 人権文化 [ひとりひとりが個人として厚く尊重される]		15 生涯学習 [生涯にわたってみずからを磨き高める]	
2 住環境 [すべてのひとがいきいきと活動する]		16 産業 [産業連関都市として独自の産業システムをもつ]	
3 しごと [すべてのひとがいきいきと活動する]		17 観光 [魅力ある観光を創造する]	
4 学校教育 [子どもたちが心豊かで社会性を身につけみずからの生き方を学ぶ]		18 大学 [大学の集積・交流が新たな活力を生み出す]	
5 福祉 [すべてのひとが相互に支え合い安心してくらす]		19 青少年 [若者が集い能力を発揮する]	
6 子育て [子どもを安心して産み育てる]		20 個性と魅力あるまちづくり [個性と魅力あるまちづくり]	
7 健康（保健・医療，スポーツ） [心身ともに健やかにくらす]		21 交通基盤 [多様な都市活動を支える交通基盤づくり]	
8 環境 [環境への負担の少ない持続可能なまちをつくる]		22 高度情報化 [高度情報通信社会に対応できる基盤づくり]	
9 消防・防災 [災害に強く日々のくらしの場を安全にする]		23 情報公開 [情報を市民と共有する]	
10 生活安全（犯罪・事故，消費生活） [日常生活における身近な安全や安心を確保する]		24 市民参加 [市民の知恵や創造性を生かした政策を形成する]	
11 歩いて楽しいまちづくり [歩いて楽しいまちをつくる]		25 市政改革 [市民とともに政策を実施する]	
12 美しいまちづくり [美しいまちをつくる]		26 行政評価 [市民とともに政策を評価して市政運営に生かす]	
13 文化 [成熟した文化が実現する]		27 区役所を拠点とする地域づくり [個性を生かした魅力ある地域づくりを進める]	
14 国際交流 [国内外との多彩な交流を行う]			

※ []は、京都市基本計画の政策項目です。

